

MICROSOFT CA 統合

マイクロソフト CA発行の証明書のディスカバリー、管理、自動化

概要

DigiCert® Trust Lifecycle Manager は、Active Directory証明書サービス(マイクロソフト CA)により発行された証明書のディスカバリー、管理、自動化を可能にします。この機能により、組織は包括的な証明書管理プログラムの一環として、既存のプライベート認証局の統制を改善することができます。

主な特長

- マイクロソフトCA発行の証明書の一元的な可視化と管理
- セキュリティ・ポリシーの適用と実施
- 複数のワークフローをサポートし、人的ミスを減らす柔軟で効率的な発行
- マイクロソフトCA を幅広い証明書ターゲットに拡張する ACME を含む柔軟な申請方法
- サービスが停止した場合に特定し、警告を発する自己管理型アーキテクチャ
- 現在のマイクロソフトのプライベートCAから将来のテクノロジーへのシンプルな移行パス

主な機能

マイクロソフトCA発行の証明書ディスカバリーと管理 Trust Lifecycle Managerは、マイクロソフトCAが発行したすべての証明書を検出し、統合された証明書リポジトリにインポートします。ここで管理者は、アセットをグループ毎にタグ付けし、タグ毎またはその他の属性に基づいてフィルタリングし、個々の証明書または証明書グループに対しポリシーを適用したり、その他のアクションを促したりすることができます。

発行と失効の合理化

事前設定され、カスタマイズ可能な証明書は、複数の証明書タイプやワークフローに対しても簡単な発行を実現し、PKIの運用管理に関わる必要な専門知識を減らし、手動プロセスにより発生する可能性のあるエラーを排除します。

プライベートCAによる幅広いエコシステムをサポート

Trust Lifecycle Managerは、SCEP、EST、ACME、ウェブベース、APIベース、自動申請など、複数の申請方法と業界標準プロトコル、幅広いテクノロジーをサポートします。

発行、更新、失効の自動化

Trust Lifecycle Managerは、自動化のための自己管理アーキテクチャを提供し、発行と更新を合理化し、サービスの中断を予防します。

DigiCert Trust Lifecycle Managerは、多様なエコシステムとの統合により、顧客が マイクロソフトCA証明書を一元化、管理、自動化することを可能にします。

DigiCert 環境



顧客環境

